

## 保護者アンケート結果を受けての一考察

### 1 昨年度の値と比較し、評価が高くなった項目について（4 p以上上昇した項目）

- (1) 設問3. 学校は、特色ある教育活動を展開している。( + 4 p)
- (2) 設問4. 学校では先生と児童生徒が信頼しあって活動している。( + 6 p)
- (3) 設問9. 学校は、児童生徒の様子などについて、保護者への連絡や意思疎通を積極的にこなしている。( + 4 p)
- (4) 設問10. 学校は、授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している。( + 5 p)
- (5) 設問20. 学校の先生は、児童生徒の実態を的確に捉えている。( + 5 p)
- (6) 設問22. 学校の授業には、体験的な活動が取り入れられ、児童生徒は意欲的に取り組んでいる。( + 5 p)
- (7) 設問30. 学校の先生は、児童生徒のプライバシーに配慮している。( + 4 p)

### 2 昨年度の値と比較し、評価が低くなった項目について（4 p以下下降した項目）

- (1) 設問2. 学校は、児童生徒一人一人のよさや可能性を伸ばせるような活動を工夫している。( - 4 p)
- (2) 設問7. 学校の教育方針や指導の内容を保護者(地域)へわかりやすく伝えている。( - 4 p)
- (3) 設問32. 学校は、児童生徒が社会生活の基礎的・基本的な力を身に付けられるような指導をしている。( - 4 p)

### 3 評価の高い項目（1 + 2 = 90 p以上の項目）

- (1) 設問4. 学校では先生と児童生徒が信頼しあって活動している。( 90 p)
- (2) 設問10. 学校は、授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している。( 94 p)
- (3) 設問16. 学校の先生は、児童生徒に愛情を持って接している。( 90 p)
- (4) 設問29. 学校は、児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。( 90 p)
- (5) 設問31. 学校では、児童生徒が生き生きとして楽しそうである。( 92 p)

### 4 評価の低い項目（1 + 2 = 70 p以下の項目）

- (1) 設問24. 学校では、体罰の防止に努めている。( 69 p)
- (2) 設問25. 学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。( 62 p)

\* 設問24,25に対して、30%が「わからない」と回答している。

## 5 各学部別の評価

### (1) 小学部

中学部、高等部に比べ全体的に評価が高い。特に家庭との連携に関する設問全般に対して中学部、高等部に比べて8 p 評価が高い。また、教職員に関する設問全般についても中学部、高等部に比べて6 p 高くなっている。一方で体罰の防止に関する設問では中学部、高等部に比べ低い評価となっており、分からないとの回答が32%と学部間で一番高くなっている。

### (2) 中学部

小学部、高等部に比べ、最も評価が低くなっている。全体的な傾向としては高等部に似ており、なかでも授業全般に関する設問の評価が学部間で最も低い評価となっている。一方で、設問24. 体罰の防止に関する評価、設問29. 安全配慮に関する評価、設問15. 職員の礼儀に関する評価は学部間で最も高い。

### (3) 高等部

設問28. 進路指導に関する設問の評価が学部間で最も高くなっている。設問28. について、小学部、中学部においては分からないとの回答が小学部23%、中学部26%となったが、高等部では9%となっている。これは、高等部における日頃の進路指導が保護者に浸透している状況を示すものと考えられる。

## 6 学校の評価

全体的に高い評価を得たといえる。体罰やいじめ、差別に関する設問については、デリケートであり、プライバシーの問題も絡み、どうしても「分からない」と回答する保護者が多くなることが考えられるが、各学部や学校から保護者に向けて情報を提供するなど努力が必要である。